

既存下地	塩ビシート防水	改修仕様	NCA-507TC
採用理由	建物全体を断熱工法にて改修を行う物件であり、屋上においても既存の塩ビシート機械的固定をそのまま残して、断熱工法が施工可能なカバー工法として採用された。		

施工現場全景



施工前



施工後

物件	学校屋上改修工事		
面積	平面部 530 m <sup>2</sup>	立上り部 120 m <sup>2</sup>	合計 650 m <sup>2</sup>

ドレン周り、部分処置部分



施工前

施工前状況

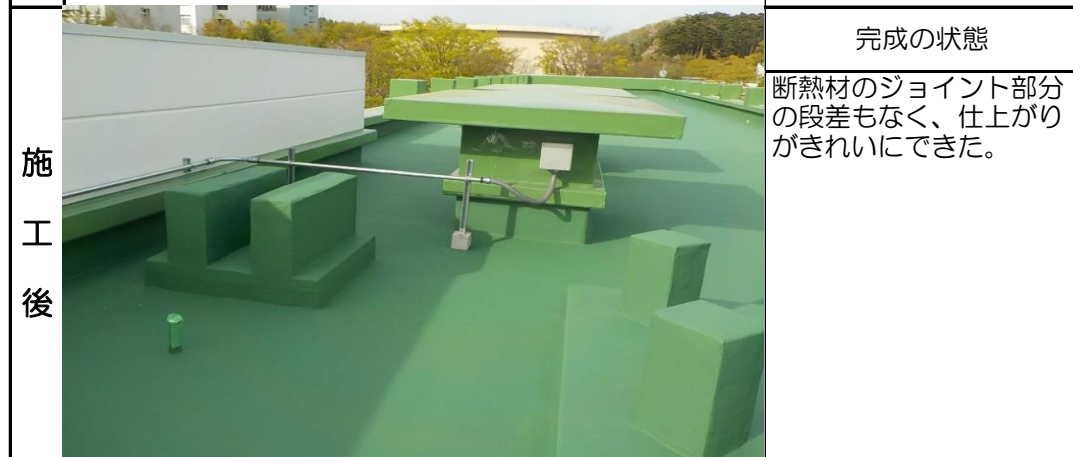
架台廻りには固定ディスク板や固定鋼板が沢山使用されている為、断熱材が浮いて貼りづらくなっていた。



施工中

対処方法

床に段差があっても下地になじむシートを密着させて使用し平滑性を確保した。



施工後

完成の状態

断熱材のジョイント部分の段差もなく、仕上がりがきれいになりました。